



## 最新のニュース

- 国連ハビタットが報告書「アジアの都市の現状と課題 2010/11」を発表しました。
- 国連ハビタット・(財)福岡県国際交流センター合同レクチャーシリーズ第2回ハビタットひろば「ミャンマー」を6月1日(水)に開催しました。
- 第3回ハビタットひろばは、「世界の自然災害を語る」をテーマに8月1日(月)に開催します。

## State of Asian Cities

### アジアの都市の現状と課題 2010/11

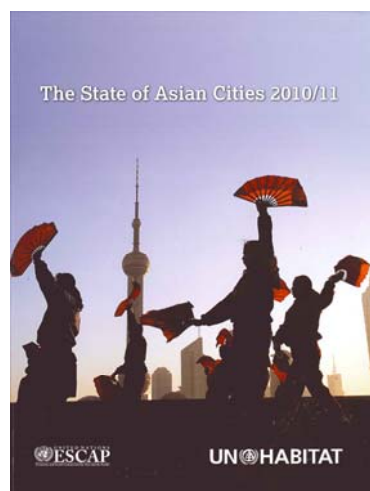
国連ハビタットは、2011年6月22-23日にタイ・バンコク市で開催されたアジア太平洋都市フォーラムにおいて、報告書「アジアの都市の現状と課題 2010/11」を発表しました。報告書作成には、アジアの約30大学が協力し、約480都市を調査しています。内容は、都市化の動向、都市経済の役割、貧困と格差、都市環境と気候変動、都市経済と金融等です。

報告書の中では、都市人口の60%が小中規模の都市に住み、2050年までに多くの100万都市が生まれると言われるアジア地域において、福岡を人口50万~100万都市の開発モデルとして位置づけ、「コンパクトで、ダイナミックで、そして住み良い都市」として紹介しています。その理由として、福岡は開発と環境、都心と郊外、近代性と伝統などにおいて良いバランスを保ちながら高い生活の質を提供している点や、「アジアへの玄関口」としての国際空港や鉄道・バス等の効率的な公共交通ネットワークが整備されている点、ゲーム産業やアニメ、水素エネルギーやロボットなど、若い専門家を惹きつける最先端技術や知的・創造的産業を有している点を挙げています。

また、アジアの都市は生産性が高く、経済成長のエンジンとして評価する一方、都市部に拡大する不平等や世界のスラム人口の半分以上(5億550万)を抱えている現状も指摘しています。

都市環境と気候変動に関しては、現在のアジアの都市の消費傾向は持続不可能であるとし、公害や気候変動が経済成長モデルの脅威になるとしています。

本報告書に関しては、国連ハビタット福岡本部がアジア太平洋都市フォーラム開催前に記者会見を行い、AP、Japan Times、Daily Yomiuri、日本経済新聞、毎日新聞、西日本新聞、東京新聞等に幅広く報道されました。



The State of Asian Cities 2010/11 (アジアの都市と現状と課題 2010/11) 英語は、国連ハビタットウェブサイトからダウンロードいただけます。  
<http://www.fukuoka.unhabit.at.org>

## 第2回ハビタットひろば「ミャンマー」



第2回ハビタットひろば開催の様子



ミャンマー事業で整備された雨水集水タンク

2011年6月1日、国連ハビタット福岡本部と（財）福岡県国際交流センターによる共同レクチャーシリーズ第2回ハビタットひろば「ミャンマー」を開催しました。福岡本部でミャンマーを担当する上級人間居住専門官のヤン・メイウィッセンが講師をつとめました。

2008年にミャンマーを襲ったサイクロン・ナルギスにより、雨水の採取・貯水施設などが深刻な被害を受けました。農村地帯では生活用水を雨水に頼っているため、被災地では水不足が深刻な問題でした。国連ハビタット福岡本部は、日本政府支援の元、「コミュニティの水と衛生復旧プロジェクト」を立ち上げ、安全な水の供給と衛生施設の整備を通じ、デルタ地帯に住む人々の健康状態改善を図ると共に、衛生や健康に関する地域住民の意識向上に努めました。

ヤンさんは、被災住民たちが協議会を立ち上げ、ハビタットとともに事業を実施し、コミュニティ自体の絆を深めていく過程を、写真を使って丁寧に説明しました。

次のハビタットひろばは、8月1日（月）18：30-19：30に開催します。テーマは、「世界の自然災害を語る」、講師は野田順康本部長です。

### -ROAP TOPICS-

\*7月11日（月）、野田順康本部長は中洲流朝山で表左肩に上がりしました。また、7月12日（火）、他流において、表右肩2番棒鼻で櫛田神社清道入りを致しました。



写真左：  
野田本部長

\*国連ハビタット福岡本部が設立した1997年から勤務していたヤンさんでしたが、7月20日、ケニア・ナイロビで国連ハビタットのアフリカ地域本部長に就任するため、家族とともに福岡を離れました。アジア太平洋地域で培った系統だった住民参加型の手法と経験をアフリカで生かしたいと意気込みを語ってくれました。



前列中央：  
ヤンさんと  
奥さんの  
エスタさん

Water for Life  
UN-HABITAT  
United Nations Human Settlements Programme

いのちの水  
プロジェクト

ひと、水、笑顔  
はじめよう。

世界では5人に1人が安全な水を飲むことができません。

生活に欠かせない「いのちの水」。  
国連ハビタットは、世界中の人々が安心して水を飲み、安全に暮らせる「まちづくり」を応援しています。  
国連人間居住計画（ハビタット）福岡本部（アジア太平洋担当） <http://www.fukuoka.unhabitat.org>

国連人間居住計画（ハビタット）福岡本部（アジア太平洋担当）  
〒810-0001 福岡市中央区天神 1-1-1 アクロス福岡 8階  
Tel: 092-724-7121; Fax: 092-724-7124  
Homepage: [www.fukuoka.unhabitat.org](http://www.fukuoka.unhabitat.org)  
E-mail: [habitat.fukuoka@habitat.org](mailto:habitat.fukuoka@habitat.org)